



熊本県土木部建築住宅局建築課

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1
Tel.096-333-2537 Fax.096-384-9820



発行者:熊本県
所属:建築課
発行年度:平成30年度(2018年度)

K U M A M O T O A R T P O L I S

第23回「くまもとアートポリス推進賞」の選考を終えて

選考委員長 北野 隆

「くまもとアートポリス推進賞」は、「くまもとアートポリス」事業の一環として、質の高い優れた建造物を顕彰することにより、県民の環境デザインに対する意識の高揚と都市環境並びに建築文化等の向上、併せて豊かな地域づくりを図ることを目的に、平成7年(1995年)より行なわれている事業です。

今年度の「くまもとアートポリス推進賞」には、総数37点の応募がありました。応募の用途は専用住宅、町営団地、病院、保育所、ホテル、神社など、建築構造も木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造など、規模も大小さまざまでした。

第1次選考の書類審査は、全作品の事業主・設計者・施工者などを隠した上で、選考委員(7名)が各自の持点(10点)をA(3点)・B(2点)・C(1点)の3段階に分けて評価しました。

各選考委員の評価を集計しますと、作品はやや分散した結果になり、点数の上位から順に討議し、8作品が第2次選考の現地審査作品として選出されました。

現地審査では、設計者へ建築のコンセプトや構造、事業主には建築の使い方などいろいろな質疑応答がなされました。現地審査では、第1次の書類審査では把握できない周辺環境との調和、建築空間の取り扱い、建築素材の感触などが体験できました。

「くまもとアートポリス推進賞」の大きな特徴は、事業主・設計者・施工者の三者を表彰するところにあります。質の高い優れた建造物を作るには、三者が一体となって協力することが必要です。

本年度の「くまもとアートポリス推進賞」は、最終的には「推進賞」として「錦ヶ丘の家」・「合志マンガミュージアム」・「川尻の町家」・「MU-HOUSE」の4作品、「推進賞選賞」として「尚綱大学短期大学部附属こども園」・「園田教材社」・「町営住宅倉原団地」の3作品が選ばれました。

これら7作品については、選考委員の先生方が詳細な講評を述べられていますから、ご覧下さい。

また、これらの7作品について、私なりにそのデザイン手法を分類すると次のようになると思われます。

- 10戸の町営住宅計画で、
入居者のプライバシーを確保しながらも、
周囲との関係性にも配慮した配置計画の作品
「町営住宅倉原団地」
- 子どもにやさしい木造にこだわり、伝統的な工法や
「ワークショップ」で練りあげた手作りで暖か味のある作品
「合志マンガミュージアム」
「尚綱大学短期大学部附属こども園」
- 間口がせまく、奥行きが長い伝統的な町家の敷地を
生かしながら、現代風に設計した作品
「川尻の町家」
- 建築の構造をそのまま平面や断面に利用した簡潔な作品
「MU-HOUSE」
- 建物の機能を満たしながら、町並み景観に配慮した外観の作品
「錦ヶ丘の家」
「園田教材社」

本年度の「くまもとアートポリス推進賞」は、37点という多くの作品が寄せられました。また、第2次選考の現地審査で、設計者や事業主の方々と直接いろいろなことについて、話を聞くことができました。その中で「熊本地震」で落ち込んでいる方々に、この「くまもとアートポリス推進賞」が勇気を与えていることが感じられました。特に、熊本の建築家の方々はこの事業を目標にがんばっておられることを強く感じました。熊本県内の各地、北は阿蘇郡より、南は水俣市、西は天草市などから応募があり、この事業の県内への浸透が察せられました。



くまもとアートポリス推進賞

錦ヶ丘の家	03
合志マンガミュージアム	04
川尻の町家	05
MU-HOUSE	06

くまもとアートポリス推進賞選賞

尚綱大学短期大学部附属こども園	07
園田教材社	08
町営住宅倉原団地	09



くまもとアートポリス推進賞

錦ヶ丘の家

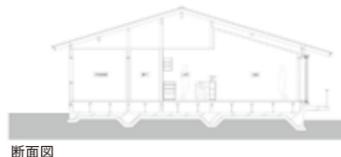
敷地面積が約300㎡、建築面積が約120㎡の平屋住宅である。建ぺい率で言えば40%。この敷地面積と建ぺい率の規模感だと、ひとつの住宅がうまく建てられることで(もちろん複数の住宅がそうであった方がずっと効果的だが)周辺の街全体の雰囲気をはっきりとよくすることができる。そして、この住宅はそれに成功している。

建ち方がよい。建屋の前に大きくとられた駐車場と庭の間に、低めの木塀が挟まっている。前面道路から見れば、その塀の面が奥の建屋の屋根の面とつながり、斜め上方に緩やかに伸びていく面の連続が感じられる。そのおかげで、塀と屋根の間に窓が見えていて、けっして閉鎖的な作りではないのに、適度なプライバシーが確保される。道路から主屋への距離とその距離の扱い、また主屋の規模と形によって、開放的でありながら、自然に外からの視線から遮ることができているのである。

主屋の内部空間は、正方形平面からなる。この形式は、この規模では大きな奥行きとなるため、中央ゾーンの扱い次第で快適にも不快にもなる。ここでは、西側での、南北両面に接続できる「通過型」の和室の挿入、また中央での、居間に開かれた台所、東側での、大きな庇空間によってセットバックした寝室配置、といった巧みな手法でそれを解決している。シラスをつかった左官仕上げ、家具を含めた造作の隅々まで工夫に満ちた丁寧さがあつた。

(青木 淳)

事業主 匿名(個人)
 設計者 有限会社遊建築設計事務所 佐竹剛
 施工者 株式会社連空間デザイン研究所
 所在地 熊本市東区
 竣工年月 平成29年(2017年)5月
 用途 一戸建て住宅
 構造 木造
 階数 地上1階
 敷地面積 307.28㎡
 建築面積 123.360㎡
 延べ面積 105.89㎡



くまもとアートポリス推進賞

合志マンガミュージアム

フロアに入るとまず、木造の大きなサイコロのようなものが目につく。「キューブ」と呼ばれるその立方体は、利用者が上がり込んだり、中に潜り込んだりして漫画を読む場所であり、館内に七つ配置されている。

われわれが訪れたのは、あいにく子どもたちのいない時間帯。だが、子どもの利用中に撮られた写真を眺めてみると、どの顔もずいぶんくつろぎ、夢中で漫画を読みふけっているように見える。まるで自分の部屋か、昭和の時代に一般的だった“押し入れ”の中に座り込んでいるようだ。子どもにとって安心できる居場所となっているのだろう。

モデルとなったのは、地元のあちこちに昔からあつた「お堂」だという。設計者と市民らがワークショップを重ね、漫画を

読む「縁側」をつくろうと方向性を決定。人々の集まる「お堂」のイメージをそれに重ね、空間を作り上げた。

収集された何万点という漫画は、主に一個人によって収集されたものだ。それが合志市に寄贈・委託され、既存の建物(旧郷土資料館)を活用してのミュージアム開館につながった。キューブ設置を含む改修は、かなりの低予算で実現された。

ずらりと並んだ漫画は、年代別に整理されている。利用者はそれを自由に読むことができる。これら漫画を寄贈した本人は、開館と同時に館長に就任。その館長らによる漫画愛にあふれた運営と作品解説も、選考委員から大いに評価された。

(農 孝生)



1階平面図



断面図



事業主 合志市
 設計者 崇城大学工学部建築学科西郷正浩研究室
 上林工業株式会社
 谷良二建築設計事務所
 施工者 上林工業株式会社
 所在地 合志市御代志1661-271
 竣工年月 平成29年(2017年)3月
 用途 文化施設
 構造 鉄筋コンクリート造
 階数 地上1階
 敷地面積 4,199.00㎡
 建築面積 689.125㎡
 延べ面積 289.00㎡



PHOTO / 石井 紀久

くまもとアートポリス推進賞

川尻の町家

デザインの共同経営のお二人とご家族が熊本地震で被災した事がきっかけとなり「川尻の町家」は建設された。設計者は旧薩摩街道沿いの間口4.3m×奥行36mの細長い敷地に川尻地区の「町家」の今日的な解釈を模索したとしている。入り口道路側1/3に1階を打ち合わせ室、2階を作業室とした明るく効率的な2階建の共同オフィス棟、奥を3階建のそれぞれのご家族との2世帯住宅棟に配置。住宅棟の各層の分割は1階層と3階層をそれぞれのスペースとし、2階層は中心部の共有スペースを挟み半分ずつを個々のスペース、一つ扉を開ければお互いが行き来できる開かれた関係性が素晴らしいと感じた。内部空間は北側を通路とし各部屋へと繋がり、

中心部に設けた中庭が採光・通風の確保と外の気配を感じる重要な役目も果たしている。作り付けの家具も含め内装材は木の素材で統一され随所に施主のお二人のコレクションがさりげなく配置されシンプル且つ豊かな暮らしを感じる。同じ創造性を共有する仕事に関わった10年という時があったからこそ実現できたと語られたお二人の笑顔が印象的で、お互いの信頼性がこの空間に温もりをもたらしているのだと思った。

外観については委員会からもう少し工夫があってもよかったのではとの意見もあり最後に付け加える。

(大野 郁子)



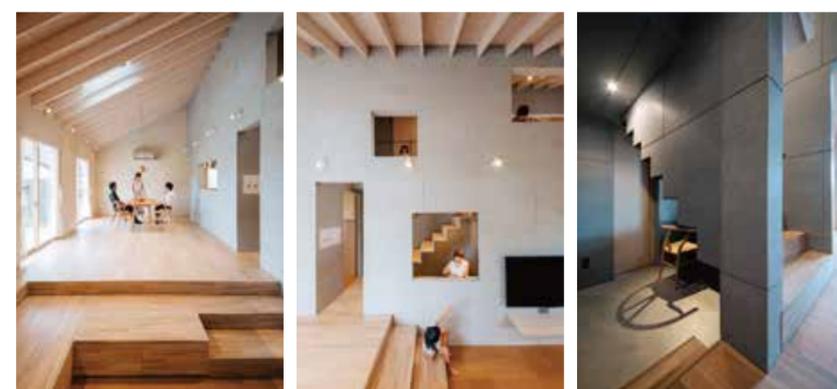
事業主 匿名(個人)
 設計者 柳瀬真澄建築設計工房
 施工者 有限会社筑羽工務店
 所在地 熊本市南区
 竣工年月 平成30年(2018年)3月
 用途 事務所併用住宅
 構造 木造
 階数 地上3階
 敷地面積 170.09㎡
 建築面積 124.710㎡
 延べ面積 316.01㎡



断面図



PHOTO / Katsuhiko Hirata



断面図

くまもとアートポリス推進賞

MU-HOUSE

家族と暮らす幸せが溢れそうな住宅である。

玄関を入ると床のレベルを変えたリビングとダイニングからなる大きなワンルームが2階まで吹き抜けて、伸びやかな解放感が広がる。

棟ラインの大きな壁には、床をスキップさせて配したキッチン、妻書斎、子ども部屋の窓が開けられ、位置や大きさが異なりリズムを生み出していて、大壁による切り立った圧迫感は消し去られている。

その窓越しからは、家族それぞれの様子が窺えるようになって、優しい繋がりが保たれている。

棟ラインの大きな壁とその他の壁、床、天井の素材・色が、親和性のある2種でまとめられ、スキップフロアでありながら、それぞれの空間は一体化してやさしく包み込まれる。

三つの納戸をはじめとした多くの収納スペースが用意され、極力、家財道具を表に見せないことで更に空間の統一感が強められ、住み手の空間へのこだわりが伝わってくる。

リビングにある階段状の段差は、子どもたちにはベンチやテーブルの役目も果たし、低めのテーブルを据えれば掘りこたつにでもなりそう、他のスキップにも様々な仕掛けがある。2階の一番奥には隠し部屋かと思わせる夫書斎の仕立てがユニーク。

1階床下の蓄熱式の暖房によって、大きな窓で繋がる2階の子ども部屋は、真冬でも暖房がいらぬ、と施主の弁。

南側全面に渡る1階テラスの外に出ると、施工者が見つからず遅れていた外構工事がようやく始まろうとしていたが、広い敷地内には両親の住む母屋や工房があって、3世代が繋がって暮らす様子が目に浮かんだ。

(西嶋 公一)

事業主 匿名(個人)
 設計者 株式会社長野聖二建築設計處
 施工者 有限会社ウダホーム
 所在地 熊本市東区
 竣工年月 平成29年(2017年)7月
 用途 一戸建て住宅
 構造 木造
 階数 地上2階
 敷地面積 760.56㎡
 建築面積 128.200㎡
 延べ面積 175.61㎡



くまもとアートポリス推進賞選賞

尚綱大学 短期大学部 附属こども園

幼稚園から認定こども園へ移行するための増築計画である。配置は西側の広葉樹林の丘を囲むように既存園舎とつなげている。

建物は木造・平屋建て、仕口も伝統的な工法で仕上げ、床も無垢の厚板を使用するなど、木の香りが漂っている。

また、建物断面は中央部に腰屋根を設け、自然通風・採光を確保している。西側の広い園庭側のテラス軒を大きく出すことにより、夏場の直射日光を防ぐと同時に雨の日は子どもの遊び場にもなっている。

既存園舎と高さや色調を合わせ、既存園庭を囲むような配置で一体感があり、増築計画がうまくいっている。また、伝統的な木造継手など温かみがあり、子どもにやさしい空間を造り出している。また、こども園として成功しているのは、西側の広葉樹林に囲まれた広い園庭も貢献しているように思える。

(北野 隆)



平面図

事業主 学校法人尚綱学園
 設計者 有限会社FU設計
 施工者 光進建設株式会社
 所在地 菊陽町武蔵ヶ丘北2-8-1
 竣工年月 平成28年(2016年)2月
 用途 認定こども園
 構造 木造
 階数 地上1階
 敷地面積 23,917.11㎡
 建築面積 1,103.430㎡
 延べ面積 973.64㎡



くまもとアートポリス推進賞選賞

園田教材社

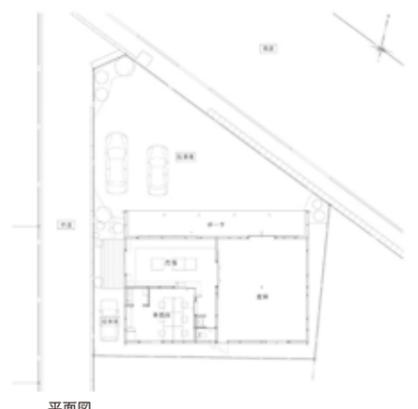
合志市の田圃と住宅地が混在する一角、交通量の多い県道に面して建つ教材店。児童生徒のための学習・教育関連用品を扱い、小中学校への納品を主としながら小売販売も行っている。

間口14m奥行8mの平屋の左半分が倉庫、右半分に物販スペースと奥に事務室がある。荷降ろし時の使い勝手を想定した奥行2mのポーチと、そこに並ぶ細い丸柱は、ファサードに軽快さと心地よい緊張感を与え、銀色の切妻の外観とともに日常と非日常の中間的印象をもたらす。

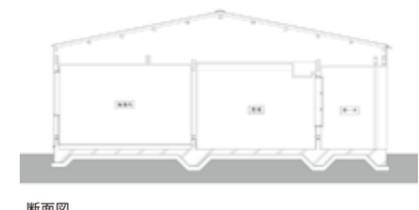
要素を限定し、明快なつくりをしている。簡素な家型ボリュームからポーチの部分がえぐられ、倉庫の鋼製引戸と店舗の窓扉が左右にならぶ正面。内装には構造用合板、白い左官面とコンクリートというプレーンで素材感のあるものが選ばれ、倉庫と物販で使い分けられながら、大きな引戸で両者が視覚的につながり空間の奥行きが伝わる。建具や家具の素材や形も筋の通った統一感を持ち、全体として静謐で心地よい場所が実現している。

子どもたちが日常立ち寄れる場所として、また時にはギャラリーや教室、マルシェの場などとして地域に開けそうである。教材店の繁忙期は年度の節目に集中し、その時期満杯になる倉庫も時期をすぎると空いているとのこと。実用に素直に沿いながら美しさを備えるこの建築の、魅力と特性をさらに活かす場面を期待する。

(高橋 晶子)



平面図



断面図

事業主 有限会社園田教材社
 設計者 有限会社遊建築設計事務所 佐竹剛
 施工者 株式会社連空間デザイン研究所
 所在地 合志市栄2119-24
 竣工年月 平成27年(2015年)9月
 用途 店舗+倉庫
 構造 木造
 階数 地上1階
 敷地面積 325.45㎡
 建築面積 140.000㎡
 延べ面積 140.00㎡



くまもとアートポリス推進賞選賞

町営住宅倉原団地

町営の住宅団地の建て替えである。この場合、住宅の計画も大事だが、全体の配置計画がその場所の将来を決める。その際まず問題になるのが駐車場の扱い。ここでは駐車場を集約するのではなく、各戸の前に1台分確保している。隣に学校のグラウンドがあるので、敷地内に広場を確保するよりも、玄関先まで車で行ける便利さが優先されており、高齢者には優しい。二本の道に沿ってL字型の住戸平面を並べることで、隣の住戸との間に囲いとられた庭は、車を1台おいてもまだ余裕がある。次に問題になるのは庭から玄関までをバリアフリーにすること。ここでは舗装された駐車スペースに傾斜をつけて、道路境界から家までの間で少し上り、そこから屋根付きのテラスを斜路にすることによって玄関の高さ

によりつけている。手すりは、テラスの屋根を支える柱に支持されているので、実にさりげない。せつかく作った前庭が、折れ曲がったスロープと手すりですり占拠されてしまう事例が多い中、ここでのスロープと手すりの処理はスマートで感心した。その一方で芝敷が庭の標準仕様なのは良いが、住民が持ち込んだ樹木や花は少なく、住民の方々に少し遠慮があるように思えた。庭から見えるのが、隣の家の壁面や、南側の製材所の塀で、よその庭が見えないことがその一因かもしれない。プライバシーを優先する配慮が、個人の領域が溶けて周りと融和する機会を減らしてしまったのかもしれない。全戸入居済みで、住戸の内部を見学できなかったのも、審査の上では気の毒に思った。

(塚本 由晴)



：平面図



事業主 小国町
 設計者 株式会社セル アーキテクト
 有限会社坂田工務店
 株式会社橋本建設
 有限会社鳩野建設
 有限会社翔技建
 施工者
 所在地 阿蘇郡小国町大字宮原字今市1919-2
 竣工年月 平成28年(2016年)12月
 用途 一戸建て住宅
 構造 木造
 階数 地上1階
 敷地面積 3,264.07㎡
 建築面積 85.12㎡×10戸
 延べ面積 75.63㎡×10戸

第23回平成30年度(2018年度)くまもとアートポリス推進賞募集要項

趣旨

熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市文化並びに建築文化の向上を図るとともに、文化の情報発信地としての熊本を目指して、優秀な建築家やデザイナーの才能・アイデアを結集し、機能面はもとよりデザイン面にも優れた、後世に残る文化的資産を創造するため、「くまもとアートポリス」を推進しています。

その一環として、「くまもとアートポリス推進賞」では、建築文化に対する関心を高めるため、平成7年(1995年)から県内各地の優れた建造物等を表彰しています。

表彰対象

概ね5年以内に竣工(改造、改修、修復を含む。)した熊本県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等(くまもとアートポリス参加プロジェクト及び県の施設を除く。)とします。

選考基準

本賞の選考は、建造物等の企画、設計、施工及び施設の利用について、次に示す評価のポイントをもとに総合的に評価します。

評価のポイント

- ① ②～⑥の評価ポイントがデザインに反映され、優れているもの
- ② 新しい技術的提案や工法の改善が行われているもの
- ③ ひとや環境に優れた配慮がなされているもの
- ④ 施設の活用に創意工夫がみられるもの
- ⑤ 地域づくりに寄与しているもの
- ⑥ 長いスパンのライフサイクルに配慮されているもの
- ⑦ 良好な施工が行われているもの
- ⑧ 維持・管理が良好なもの

賞

賞は「くまもとアートポリス推進賞」、「くまもとアートポリス推進賞選賞」とします。事業主(必要に応じて管理者を含む。)、設計者及び施工者に知事が表彰状を贈ります。

応募資格

自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。

選考委員(50音順)

- 青木 淳(青木淳建築計画事務所代表)
- 大野 郁子(イラストレーター、JAGDA会員)
- 北野 隆(熊本大学名誉教授)
- 高橋 晶子(武蔵野美術大学教授、ワークステーション共同主宰)
- 塚本 由晴(東京工業大学大学院教授、アトリエ・ワン)
- 西嶋 公一(オフィス・ムジカ代表、熊本県文化協会常務理事)
- 農 孝生(熊本日日新聞社編集局文化生活部次長兼論説委員)

選考経過

募集	平成30年(2018年) 6月25日(月)～9月25日(火)	応募37件
書類選考	10月10日(水)	
現地審査	11月13日(火)～11月14日(水)	現地審査8件
最終選考	11月14日(水)	推進賞4件、推進賞選賞3件
表彰式	平成31年(2019年) 1月31日(木)	

くまもとアートポリス推進賞 県内マップ

第1回 1995年度

- 1 小国町立西里小学校
- 2 東陽村石匠館
- 3 八代広域行政事務組合消防本部庁舎
- 4 株式会社野田市兵衛商店流通団地営業所*
- 5 清和物産館(四季のふるさと)
- 6 荒瀬ダムポートハウス
- 7 出田眼科病院*
- 8 尚玄山荘

第2回 1996年度

- 9 社会福祉法人 慈愛園ノーマンホーム*
- 10 阿蘇白水温泉「瑠璃」
- 11 ふるさとセンターY・BOX

第3回 1997年度

- 12 久連子古代の里
- 13 養護老人ホーム八代市立保寿寮
- 14 水俣市営洗切団地
- 15 丸尾焼工房
- 16 人吉の写11/平井邸
- 17 浮島周辺水辺公園

第4回 1998年度

- 18 老人保健施設 かみ苑
- 19 熊本県信用保証協会八代支所
- 20 HOUSE:H-M
- 21 水俣市保健センター・水俣市総合もやい直しセンター
- 22 古閑邸*
- 23 聖母の丘*
- 24 宮原町下宮はまどん公園

第5回 1999年度

- 25 水上村立湯山小学校
- 26 中央町総合交流ターミナル「石段の里 佐俣の湯」
- 27 植柳新町公民館(地域学習センター)
- 28 シルワ・エッセ*
- 29 50M-標の森美術館
- 30 宮崎耳鼻科*
- 31 矢野邸*

第6回 2000年度

- 32 やつしろハーモニーホール
- 33 城南の舎
- 34 中央町福祉保健センター「湯の香苑」
- 35 ネクステージビル*
- 36 熊本YMCA 阿蘇キャンプメインホール
- 37 セカンドサイト*
- 38 霧の斎場

第7回 2001年度

- 39 荏原九州
- 40 K.Residence*
- 41 つなぎ美術館
- 42 稗田の舎*
- 43 ガレリアのある舎
- 44 chase
- 45 キューネット社員寮「希翔館」*

第8回 2002年度

- 46 久野邸*
- 47 立田山野外保育センター「雑草の森」*
- 48 八代の町屋
- 49 いのうえデンタルクリニック*
- 50 大野温泉センター

第9回 2003年度

- 51 熊本保健科学大学*
- 52 I-HOUSE
- 53 熊本市現代美術館*
- 54 UEDA.Residence*

第10回 2004年度

- 55 九州新幹線 新水俣駅
- 56 S.W.H
- 57 田迎の家*
- 58 東海大学付属第二高等学校*
- 59 ひだまりのまち B4

第11回 2005年度

- 60 k-house in 近見*
- 61 高瀬蔵

- 62 3 Towers
- 63 美里町立中央小学校体育館
- 64 玉名温泉つかさの湯
- 65 堀田眼科病院

第12回 2006年度

- 66 阿蘇の舎
- 67 nina Dental Clinic
- 68 西の久保公園
- 69 "B"-studio*
- 70 永田歯科*

第13回 2007年度

- 71 H-court
- 72 熊本学園大学14号館(60周年記念会館)*
- 73 城下町の住宅*
- 74 多良木町交流館石倉
- 75 グリーンスイートアンドカンパニーアジアエンジニアリングセンター
- 76 AI mall*
- 77 コンパスポイント本社ビル*

第14回 2008年度

- 78 障害者多機能型施設 高森寮
- 79 B-house in 島崎*
- 80 ジャンクルジムの家
- 81 Chro-e#01(クローイー#01)*
- 82 ガーデンコートゆうかり*
- 83 松木運輸株式会社
- 84 しらさぎおざや
- 85 済生会熊本病院外来がん治療センター*
- 86 barn renovation

第15回 2009年度

- 87 畑の中の一軒家
- 88 川上酒店*
- 89 i-CUBE#01(アイキューブ#01)*
- 90 光の森の住宅
- 91 桜木の家*
- 92 R-House in 梶尾
- 93 YMCA赤水保育園
- 94 熊本市下通2・3・4番街アーケード*

第16回 2010年度

- 95 道と暮らす家*
- 96 天草文化交流館
- 97 C-HOUSE*
- 98 芦北町立佐敷小学校
- 99 百年遺伝子の門
- 100 T-house in 高森

第17回 2011年度

- 101 熊本市医師会館・看護専門学校*
- 102 高瀬
- 103 宮原邸*
- 104 嘉島の家
- 105 田園住宅(篠崎邸)
- 106 I-apartment*
- 107 松の湯
- 108 矢部の家
- 109 Shipな家*

第18回 2012年度

- 110 行徳眼科*
- 111 八代の家
- 112 護岸の家
- 113 器季家カフェ*
- 114 阿蘇くまもと空港国内線ターミナルビル
- 115 小規模多機能型居宅介護ハイマートの郷*
- 116 ユウハウス*
- 117 House-Sim
- 118 ±5' SEPPAN BOX

第19回 2013年度

- 119 大江の舎/親誼書房*
- 120 T邸*
- 121 風と共に
- 122 中九州クボタ本社・物流センター
- 123 南阿蘇原眼科
- 124 光影Archive/長洲の家
- 125 坪井の家*
- 126 渡邊総合内科クリニック/高森わたなべ薬局

● 推進賞 ○ 推進賞選賞 ※の施設は熊本市内中心部マップ (P13~P14)

第20回 2014年度

- 127 沼山津の家*
- 128 House F, nagamine*
- 129 湯浦温泉センター
- 130 MA-HOUSE
- 131 供養普請の家(佐藤忠商店)
- 132 古代の風 黒の蔵-多良木町埋蔵文化財等センター-
- 133 熊本市西区役所*
- 134 旅館 心乃間

第21回 2015年度

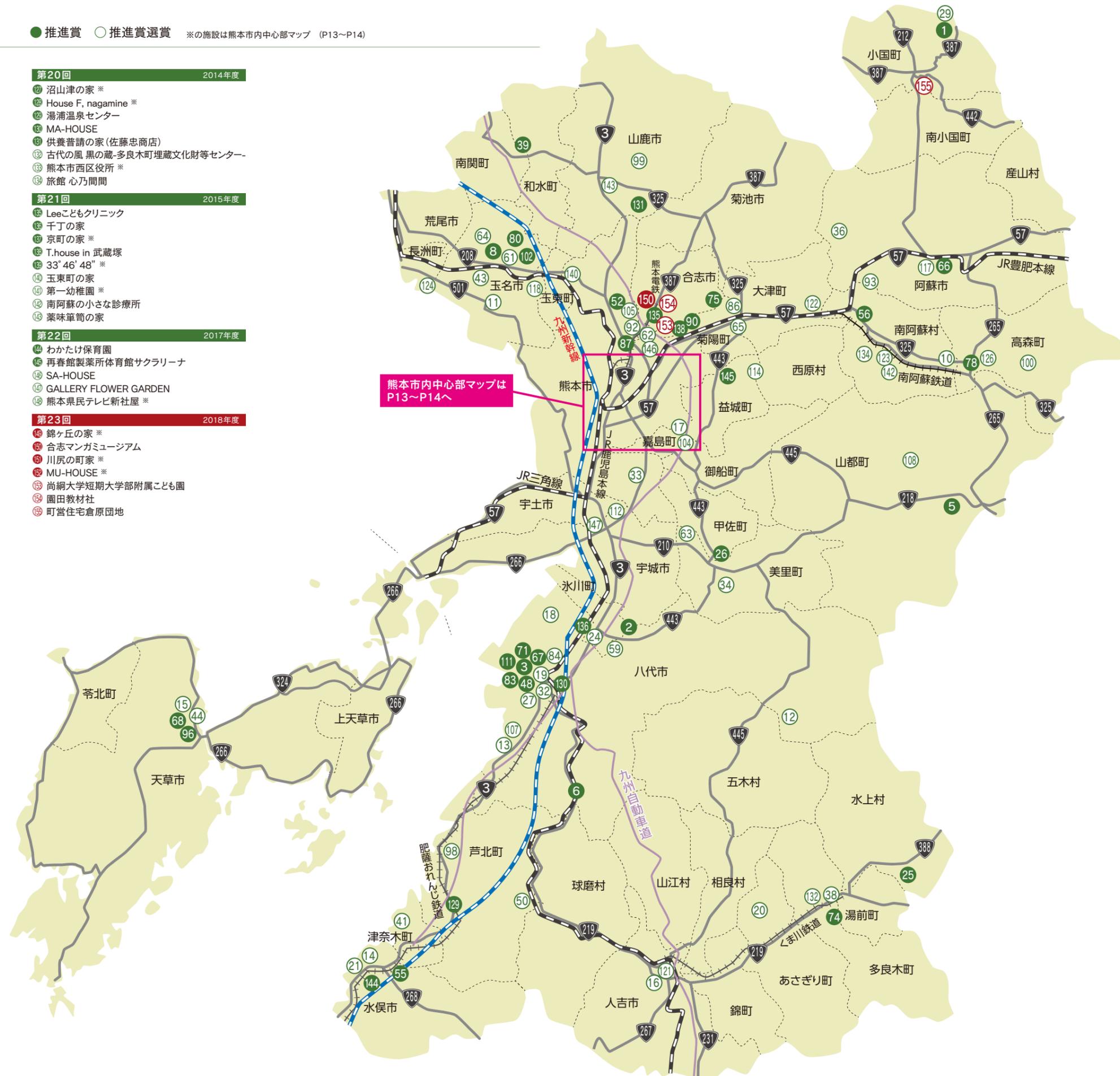
- 135 Leeこどもクリニック
- 136 千丁の家
- 137 京町の家*
- 138 T.house in 武蔵塚
- 139 33' 46' 48"*
- 140 玉東町の家
- 141 第一幼稚園*
- 142 南阿蘇の小さな診療所
- 143 葉味筆筒の家

第22回 2017年度

- 144 わかたけ保育園
- 145 再春館製薬所体育館サクラリーナ
- 146 SA-HOUSE
- 147 GALLERY FLOWER GARDEN
- 148 熊本県民テレビ新社屋*

第23回 2018年度

- 149 錦ヶ丘の家*
- 150 合志マンガミュージアム
- 151 川尻の町家*
- 152 MU-HOUSE*
- 153 尚綱大学短期大学部附属こども園
- 154 園田教材社
- 155 町営住宅倉原団地



くまもとアートポリス推進賞 熊本市内中心部マップ



- | | | |
|---|---|--|
| <p>第1回 1995年度</p> <p>4 株式会社野田市兵衛商店流通団地営業所</p> <p>7 出田眼科病院</p> <p>第2回 1996年度</p> <p>9 社会福祉法人 慈愛園ノーマンホーム</p> <p>第4回 1998年度</p> <p>22 古閑邸</p> <p>23 聖母の丘</p> <p>第5回 1999年度</p> <p>29 シルワ・エッセ</p> <p>30 宮崎耳鼻科</p> <p>31 矢野邸</p> <p>第6回 2000年度</p> <p>35 ネクステージビル</p> <p>37 セカンドサイト</p> <p>第7回 2001年度</p> <p>40 K.Residence</p> <p>42 稗田の舎</p> <p>44 キューネット社員寮「希翔館」</p> <p>第8回 2002年度</p> <p>46 久野邸</p> <p>47 立田山野外保育センター「雑草の森」</p> <p>48 いのうえデンタルクリニック</p> <p>第9回 2003年度</p> <p>51 熊本保健科学大学</p> <p>53 熊本市現代美術館</p> <p>54 UEDA.Residence</p> | <p>第10回 2004年度</p> <p>57 田迎の家</p> <p>58 東海大学付属第二高等学校</p> <p>第11回 2005年度</p> <p>61 k-house in 近見</p> <p>第12回 2006年度</p> <p>69 "B"-studio</p> <p>70 永田歯科</p> <p>第13回 2007年度</p> <p>72 熊本学園大学14号館(60周年記念会館)</p> <p>73 城下町の住宅</p> <p>76 Al mall</p> <p>77 コンバスポイント本社ビル</p> <p>第14回 2008年度</p> <p>79 B-house in 島崎</p> <p>81 Chro-e#01(クローイ#01)</p> <p>82 ガーデンコートゆうかり</p> <p>83 済生会熊本病院外来がん治療センター</p> <p>第15回 2009年度</p> <p>88 川上酒店</p> <p>89 i-CUBE#01(アイキューブ#01)</p> <p>91 桜木の家</p> <p>94 熊本市下通2・3・4番街アーケード</p> <p>第16回 2010年度</p> <p>95 道と暮らす家</p> <p>97 C-HOUSE</p> <p>第17回 2011年度</p> <p>101 熊本市医師会館・看護専門学校</p> | <p>102 宮原邸</p> <p>103 I-apartment</p> <p>104 Shipな家</p> <p>第18回 2012年度</p> <p>110 行徳眼科</p> <p>111 器季家カフェ</p> <p>112 小規模多機能型居宅介護ハイマートの郷</p> <p>113 ユウハウス</p> <p>第19回 2013年度</p> <p>116 大江の舎/親誼書房</p> <p>117 T邸</p> <p>118 坪井の家</p> <p>第20回 2014年度</p> <p>121 沼山津の家</p> <p>122 House F, nagamine</p> <p>123 熊本市西区役所</p> <p>第21回 2015年度</p> <p>124 京町の家</p> <p>125 33'46"48"</p> <p>126 第一幼稚園</p> <p>第22回 2017年度</p> <p>148 熊本県民テレビ新社屋</p> <p>第23回 2018年度</p> <p>149 錦ヶ丘の家</p> <p>151 川尻の町家</p> <p>152 MU-HOUSE</p> |
|---|---|--|

くまもとアートポリス推進賞



149 錦ヶ丘の家



150 合志マンガミュージアム



151 川尻の町家



152 MU-HOUSE

くまもとアートポリス推進賞選賞



153 尚綱大学短期大学部附属こども園



154 園田教材社



155 町営住宅倉原団地